

# 日本卸電力取引所 取引監視・取引検証 四半期報告

## 平成 18 年度 夏期

- 2006/7/1 ~ 2006/9/30 受渡分スポット取引 -
- 2006/7/3 ~ 2006/9/29 取引分先渡定型取引 -

平成 18 年 11 月

有限責任中間法人 日本卸電力取引所  
市場取引監視委員会 ・ 市場取引検証特別委員会

当資料に使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましては、  
当取引所はその責めを負いかねますのでご了承下さい。

## ～ はじめに ～

当取引所の市場取引監視委員会および市場取引検証特別委員会では、市場の公正性を確保するため、不公正な取引がないか監視し、また、取引開始初期の市場流動性を確保するため、日本の発電設備の大半を所有している一般電気事業者の余剰電源が積極的に当取引所に投入されているか検証しています。

全ての取引を監視・検証する中で、不公正取引等の疑いのある取引が見つかった場合、関係事業者への事情聴取や情報提供を求めるなどし、当該取引について詳細に調査します。詳細調査の結果、不公正取引等と認められる（あるいはその恐れのある）取引であると判断された場合、当該事業者への注意喚起、場合によっては当取引所の取引会員規程・業務規程に則った処分を実施します。

当取引所では、公正かつ有効な競争を推進する観点から、これらの監視・検証結果を一般に公開します。

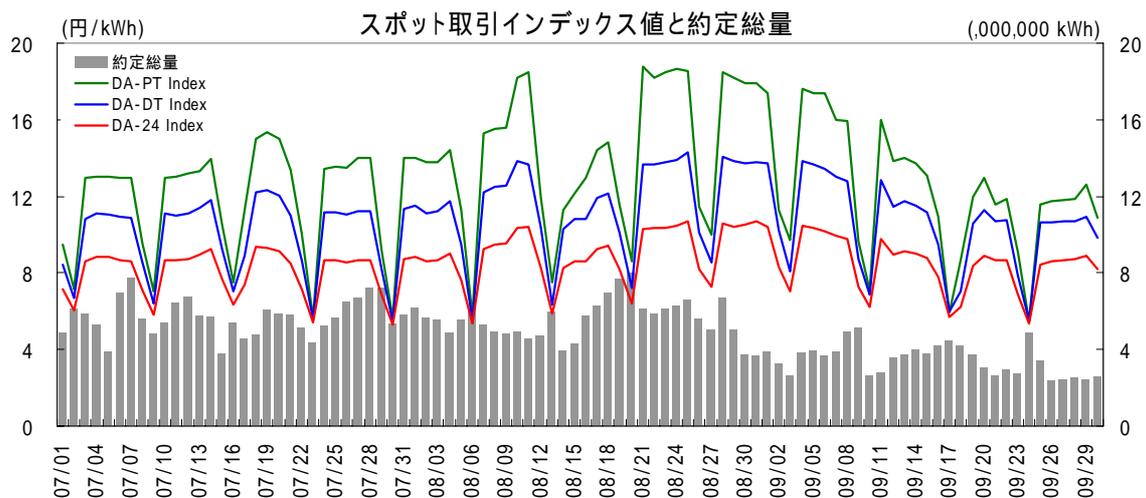
# I スポット取引

## 1. 不公正取引の監視

市場取引監視委員会では、スポット取引において不公正な取引が行われていないか監視しています。特に市場分断時など、一部の事業者の入札が取引結果に与える影響が大きくなり易い環境下においては、個別の事業者の入札カーブの分析などを含めた詳細な調査を行っています。

### 《不公正取引監視実績》

(スポット取引実績)



	東日本 <sup>1</sup>	西日本 <sup>1</sup>
約定価格平均	8.76 円/kWh	8.45 円/kWh
買約定量平均	93.5 MW	111.9 MW
東西市場分断率 <sup>2</sup>	30.2 %	

#### 【総括】

盆明け以降のシステムプライスは昨年度よりも高値で推移した。ただし、実勢価格をみると、昨年は夏期を通して約定価格がしばしば25 円/kWh を超えたが、今年は周波数変換設備の改修により市場分断が少なくなった効果もあり、7月上旬の一部の商品を除き、約定価格が20 円/kWh を上回ることは無く、比較的安定した価格での取引であった。

また、7月上旬の市場分断時に東日本で見られた約定価格が20 円/kWh を超える取引を含め、全ての取引において不正な入札は見出されなかった。

<sup>1</sup> 特に断りのない場合、「東日本」は北海道・東北・東京の3エリアを指し、価格を表す場合は東京エリアの価格で代表します。また、「西日本」は中部・北陸・関西・中国・四国・九州の6エリアを指し、価格を表す場合は関西エリアの価格で代表します。

<sup>2</sup> 東京エリアと中部エリア間で市場が分断した商品数を全商品数で除した値を表します。

<詳細調査実績>

詳細調査実施件数 0 件

<注意喚起実績>

注意喚起実施件数 0 件

<処分実績>

処分実施件数 0 件

## 2. 一般電気事業者の取引監視

日本の発電設備の大半を所有している一般電気事業者については、当取引所の初期流動性を確保するためにも、当取引所へ余剰電源を積極的に投入すること、および、必要に応じて当取引所から調達することが期待されています。

また、発電部門におけるシェアが大きい電気事業者は、当取引所内の取引においても、単独、又は他の電気事業者と協調して取引量および価格を自己に有利に設定できる可能性があり、このような支配的事業者の行動の検証は市場の公正性確保において非常に重要となります。

以上の観点から、市場取引監視委員会ならびに市場取引検証特別委員会では、一般電気事業者の入札を特に注視し検証しています。

### 《取引監視実績》

#### (システムプライスと仮想約定量売入札価格)

売りの入札から見て、仮に約定量がより多かったとしたら約定価格はどの程度上昇していたかを試算するなどし、売入札にどの程度の厚みがあったかを検証した。

システムプライス平均	8.50 円/kWh
仮想約定量売入札価格 <sup>3</sup> 平均	8.92 円/kWh

#### (一般電気事業者の売入札価格と約定量)

一般電気事業者の約定量の全体に占める割合や、ある量での売入札価格を調査し、入札価格の水準を検証した。

基準量売入札価格 <sup>4</sup> 平均	8.07 円/kWh
売約定量合計	231,990,500 kWh ( 51.1 %)
買約定量合計	138,645,500 kWh ( 30.6 %)

括弧内は全約定量に占める割合

### 【総括】

各商品の一般電気事業者の基準量売入札価格は小売市場価格等と比較しても著しい差はなく、少なくとも一部の売入札は安価であったといえる。また、仮想約定量売入札価格のシステムプライスからの乖離は小さく、ある程度売りの厚みはあったといえる。

<sup>3</sup> 市場分断がないと仮定したときの約定量を 1.1 倍した仮想的な約定量での売入札価格（一般電気事業者以外の売入札を含む）を表します。

<sup>4</sup> スポット市場に投入された全ての一般電気事業者の売入札を合成したときの、ある量（非公開）での入札価格を指します。

また、売りで約定していない事業者を中心とした複数の一般電気事業者による買いでの約定が価格の安い時間帯を中心に見られ、取引所を活用した供給力調整も見られた。

<詳細調査実績>

詳細調査実施件数 0 件

<注意喚起実績>

注意喚起実施件数 0 件

<処分実績>

処分実施件数 0 件

## II 先渡定型取引

### 1. 不公正取引の監視

市場取引監視委員会では、先渡定型取引において、仮想取引やカルテル等の不公正な取引が行われていないか監視しています。

#### 《不公正取引の監視実績》

(先渡定型取引 約定実績)

商品名	平均約定価格 <sup>5</sup>	約定件数	約定量合計
FW0629BS	11.05 円/kWh	3 件	16,800,000 kWh
FW0630BS	13.68 円/kWh	4 件	28,560,000 kWh
FW0630DT	17.97 円/kWh	1 件	7,000,000 kWh
FW0642DT	12.21 円/kWh	1 件	70,000 kWh

#### 【総括】

先渡定型取引では、7月初旬に8件(52,360,000 kWh)の約定があったが、それ以降は9月初旬に1件(70,000 kWh)の約定があるのみで、活発な取引は見られなかった。

また、約定のあった商品、無かった商品ともに、不正な入札は見出されなかった。

#### <詳細調査実績>

詳細調査実施件数 0 件

#### <注意喚起実績>

注意喚起実施件数 0 件

#### <処分実績>

処分実施件数 0 件

### 2. 一般電気事業者の取引監視

市場取引検証特別委員会では、先渡市場において、一般電気事業者による積極的な売入札があったか検証しています。

#### 《一般電気事業者の取引監視実績》

#### 【総括】

売入札の不足は認められなかった。

#### <詳細調査実績>

詳細調査実施件数 0 件

#### <注意喚起実績>

注意喚起実施件数 0 件

#### <処分実績>

処分実施件数 0 件

以上

<sup>5</sup> 約定価格の合計値を約定件数で除した値を表します。